

地域密着型サービス（むさしのケアセンター）議事録【第2回】

日 時	令和7年10月23日（木） 14:00～15:00		場 所	むさしのケアセンター面談室		
利用者	0名	地域代表	2名	地域包括	1名	事業所職員
家 族	1名	地域医療機関者等	1名	市職員	1名	

■議題	■議事内容										
1. 開会挨拶	1. 開会挨拶										
2. 活動状況報告（期間9月1日～10月21日） <ul style="list-style-type: none"> (1) 登録者の状況 (2) サービス提供回数 (3) 活動報告 (4) 事故ヒヤリハット報告 	2. 活動状況報告（期間9月1日～10月21日） <ul style="list-style-type: none"> (1) 登録者数 女性7名 男性4名 計11名 要介護度 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> <tr> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>6名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> </table> (2) 訪問介護サービス 女性3 男性1 延べ126回 訪問看護サービス 女性2 男性1 延べ15回 通いのサービス 女性7 男性4 延べ275名 泊りのサービス 女性6 男性3 延べ177名 (3) 9月13日（土）協力歯科医療機関による歯科健診開始 9月13日（土）吉祥寺秋祭り 井の頭通り商店会の御神輿興行 9月15日（月）敬老祝賀会 食事会、ミニコンサート 9月27日（土）カフェ 君の名は にて看多機紹介 10月11日（土）12日（日）南町コミセン文化祭にポスター展示、利用者と外出 10月14日（火）武蔵野市民生委員高齢者福祉部会見学会 17名来所 初の看取り対応：たんぽぽクリニックの井上医師にご指導いただきながらご本人とご家族の意向に沿った看取りに対応した。モルヒネを使用した医療的ケアに対応した2例目の看取り対応：オープン当初からのご利用者の看取りに対応、ファミリーケアクリニックの先生にご指導いただいた。 (4) 発生日時：10月7日（火）午後1時頃 種類：訪問漏れ 内容：同居家族から連絡があり、訪問介護が漏れてしまったことが発覚、約1時間遅れて自宅を訪問し謝罪、その後訪問介護サービスを提供した。 再発防止策：週間予定表、業務分担表を複数の目でチェックして予定の漏れを防ぐ。 	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	0名	2名	6名	2名	1名
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5							
0名	2名	6名	2名	1名							
3. 地域への情報提供等	3. 地域への情報提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流スペースの活用について 南町福祉の会主催による「のんびりカフェ」がオープン。9月25日プレオープン、10月14日（火）から毎月第二四火曜日14時から開店。 										
4.意見交換	4.意見交換										

武藏市役所高齢者支援課より

情報提供

- ・ケアリンピックが 11/29 スイングホールにて開催される。

ご家族より

- ・母が利用している。認知症を患つて長く、同居家族は本当に疲弊していた。この地域に看多機ができるのを待ち望んでいた。認知症介護は要介護度以上に大変な思いをしていると思う。武藏野市には認知症のある人の受け入れができる事業所が少なすぎると思うし、看多機という名称を知らない方がまだまだ多く、知らないから利用するサービスの選択肢に入つてこない。もっとアピールしたほうが良いと思う。
- ・今ではむさしのケアセンターのことを「あっちの家」と言つている。これからも看多機を利用しながら在宅介護を続けたい。

在宅介護・地域包括支援センターより

- ・防災のイベントが秋に予定されている。
- ・のんびりカフェの宣伝や声掛けはどのようにしているか。
→コミセンニュース、むさしの FM でカフェや看多機の紹介をさせてもらい、それなりの宣伝はさせてもらっている。
- ・登録者の状況に年齢を加えると良いと思う。
- ・開設 2 か月で 2 例の看取りに対応されており、ニーズに沿つた対応がされていると思う。
- ・看多機の 4 つのサービスについて、想定の利用状況なのかを伺いたい。
→想定よりも訪問が多く、通いが少ないと感じている。認知症のある方の利用希望が多く、本来の看多機に求められるニーズではなく、小多機に求めるニーズなのかと思う。市内に小多機がないことも理由だと思っている。

地域代表より

- ・コミュニティーカフェとして、特別な目的がなくても、何となく利用できる場があるといいなと思って始めた。色々な人たちと交流できたらいいなと思っている。

地域の方より

- ・地域の方が必要とするサービスに繋げることが役割だと思って活動しているが、皆さんサービスをよくご存じで積極的に利用されている印象。医師の理解も進んでいると思う。なかなか外に出て来ることができない人たちが取り残されないように支援していきたい。

地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーより

- ・民生委員さんにご協力いただきたいことが沢山ある。民生委員さんと連携を図るため、市役所の担当部署に連絡し地域を担当する民生委員さんを問い合わせたが、教えてもらえなかつた。より連携しやすくなることを望む。
- ・自宅で介護しているご家族は本当に大変だと思う。介護保険サービスの利用を開始しても、定着するまで大変な思いをされている。

4.意見交換（続き）	<p>4.意見交換（続き）</p> <p>地域の居宅介護支援事業所ケアマネジャーより（続き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が担当していたご利用者が看多機を利用することになったが、在宅サービスのチームを全て変更しなければならないことがネックであった。変更当初はご家族も心配されると思うので、きちんと引継ぎを行うことが大切だと思った。 ・地域のケアマネに対して何か要望はありますか。 <p>→看多機が社会資源の一つとして知っていただけるように、適宜情報提供にご協力いただけると幸いです。</p>
5.事務連絡等	<p>次回、第3回運営推進会議の予定</p> <p>開催日時：令和7年12月25日（木）14時から</p> <p>場所：むさしのケアセンター</p> <p>以上</p>